

法人(事業所)理念		人と生きる力をつける			
支援方針		基礎能力支援を行う「個別療育」、社会性を育む「集団療育」、総合的な発達支援を実施する「農業療育」の三本柱を中心に、将来にわたって豊かで幸せな人生を送れるような力をもつことを目指す			
営業時間		11 時	0 分	18 時	0 分
			から	まで	
		送迎実施の有無		あり	
支援内容					
本人支援	健康・生活	<p>■ねらい 身辺自立の力を育み、1日の流れを理解して見通しを持って行動できるようになる。</p> <p>■主な支援内容 「はじまりの会」で1日の予定を確認し、見通しを持って行動できるよう支援する。登所時には「荷物の片付け」「手洗いうがい」のルーティンを定着させ、整理整頓や衛生管理の習慣身につける。おやつ時間を活用し、食事のマナーや食具の扱いについても支援を行う。</p>			
	運動・感覚	<p>■ねらい 日常生活を円滑に送るために必要な運動機能や身体のイメージ(ボディイメージ)を育む。</p> <p>■主な支援内容 集団療育の中で、粗大運動、ビジョントレーニング、感覚統合遊びなどを取り入れたプログラムを実施している。また、近隣の公園での戶外活動を通して、体力の向上や運動への意欲を育む支援を行っている。</p>			
	認知・行動	<p>■ねらい 集中力を高め、周囲に注意を向ける力や状況を捉える力を育む。また、課題に取り組む中で問題解決能力を培う。</p> <p>■主な支援内容 個別療育においては、子ども一人ひとりに合わせた課題に取り組むことで、集中力や課題解決力を養う。集団活動や他児との関わりを通して、全体を見渡す力や状況判断力を育てる。また、プログラムの中で手順を視覚的に示しながら指示を伝えることで、聞く力や理解力の向上を図る。事業所内のルールや活動内容については視覚支援を徹底し、わかりやすい環境づくりに努めている。</p>			
	言語コミュニケーション	<p>■ねらい 自分の気持ちや考えを、言葉またはその他の方法で適切に伝えられる力を育む。</p> <p>■主な支援内容 個別療育・集団療育のいずれにおいても、子どもが自分の気持ちや考えを表出しやすくなるよう、支援員が状況に応じた問いかけや傾聴を行っている。言語でのコミュニケーションが難しい児童に対しては、マカトンサインや感情カード等の補助的な手段を用いて意思表示のトレーニングを実施している。全体としては、子ども同士の自然な関わりの中で生まれる「伝えたい」「理解したい」という気持ちを大切に、主体的なコミュニケーションの機会を増やすことを重視している。</p>			
	人間関係社会性	<p>■ねらい 他者との関係の中で、頼ったり頼られたりする双方向の関係性を自ら築いていける力を育む。</p> <p>■主な支援内容 ルールやマナー、感情の理解などの基礎的な学びは主に個別療育の中で行い、実際の対人関係は集団プログラムや日常の療育の中で経験する機会を設けている。そうした関わりの中で生じる出来事を通して、子どもたちは自分や他者の感情を理解し、状況に応じた行動を学んでいく。支援員は子どもたちの失敗を受け止めながら寄り添い、一人ひとりが自己理解を深め、他者とのより良い関係性を築けるよう支援している。</p>			
家族支援	面談や訪問、LINE等を通じて家庭と継続的に連携し、気軽に相談できる関係づくりを行う。	移行支援		園・学校・相談支援等と連携し、必要な情報を共有しながら就学・進路	
地域支援・地域連携	園・学校・医療機関等と日常的に情報を共有し、連携体制を構築して支援の質を高めている。	職員の質の向上		月次の全体振り返りや1on1、外部研修などを通して、職員の専門性向	
主な行事等	季節に応じた行事や外出支援を実施し、子どもたちの豊かな経験や社会参加の機会を提供している。				